

建設局

- 一般会計 要求総額 35,540百万円
(対前年度当初予算 △4.9%)
- 特別会計 要求総額 4,881百万円
(対前年度当初予算 +78.1%)

【令和2年度 予算要求の経営方針】

建設局では、市民生活に欠かせない道路・公園・河川の整備と管理を行っており、SDGsの達成に向けて、都市基盤の充実や安全で安心なまちづくり、まちなぎわいづくりを推進し、「住みよいまち」の実現を目指します。



【令和2年度 予算要求の基本的な考え方】



～主要幹線道路の整備～



～豪雨災害から市民を守る緊急対策～



～通学路の安全対策～



～拠点公園の整備～

1 都市基盤の着実な整備

要求額 11,302 百万円

- ◆主要幹線道路の整備
(戸畑枝光線、恒見朽網線、国道3号黒崎バイパスなど)
- ◆拠点公園の整備
(〔仮〕 曽根豊岡地区公園)

2 安全で安心な都市整備の推進

要求額 5,580 百万円

- ◆主要河川の整備 (紫川、神蔵川、金山川、江川など)
- ◆豪雨災害から市民を守る緊急対策事業
- ◆通学路の安全対策
- ◆巨過地区まちづくりに伴う河川整備事業
- ◆災害時における緊急輸送道路の確保

3 まちの魅力アップ

要求額 433 百万円

- ◆小倉都心部のにぎわいづくり推進
- ◆皿倉山リニューアル事業

4 暮らしに身近なまちづくり整備の推進

要求額 1,962 百万円

- ◆地域に役立つ公園づくり事業
- ◆健康づくりを支援する公園整備事業
- ◆バリアフリーのまちづくりの推進
- ◆市民による地域のまちづくり整備事業

5 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

要求額 3,849 百万円

- ◆若戸大橋・若戸トンネル維持管理・長寿命化事業
- ◆桃園公園等施設再配置推進事業
- ◆橋梁等の長寿命化の推進

※各項目に掲載している事業は、主な事業を抜粋したものです。

※公開時点での予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定しているものではありません。